

# 平戸市・枝幸町いきいき交流事業2016



北海道の厳しい冬と枝幸町の皆さんの温かいおもてなしを体感し、人と人とのつながりの素晴らしさを感じた4日間



お問い合わせ 文化交流課交流推進班  
☎内線2278



## 3泊4日、極寒の地へ

12月25日から28日までの4日間、市内中学校の生徒6人が枝幸町を訪れました。今回は、12月23日から北海道の大雪による影響で日程が変更になりましたが、無事に交流事業を終了することができました。訪問中は、枝幸町長をはじめ、教育長への表敬訪問やスキー体験、ホームステイなど枝幸の冬をさまざまな形で体験しました。



## 北海道枝幸町とは

北海道の最北端、宗谷地方の南東部に位置し冬季は非常に寒冷で、12月28日にもマイナス20度の気温となりました。産業では、日本一の漁獲量を誇る毛ガニが有名で、栄養豊かなオホーツク海で育ち、甘く濃厚なミソがぎゅっしりと詰まった毛ガニは、枝幸町を代表する特産品となっています。生徒たちは、平戸ではなかなか味わうことのできない毛ガニや牛乳のほかジンギスカン鍋なども堪能しました。

## 交流事業のはじまり

旧生月町と旧歌登町の町長が、国道も鉄道もない市町村連絡会議、通称「ないないサミット」で出会ったのがきっかけでした。

北海道と九州という異なった気候や文化を体感する中で、親睦と友好を深め、次代を担う人材を育成すること、さらには住民同士の交流や、地域物産などの経済交流へと繋がっていくことを目的として平成14年から始まったこの交流では、2年に1度生徒たちが枝

幸町を訪問し、今回の訪問を含めこれまで91人の生徒が参加しました。

## 交流事業に参加して

これまで、交流事業に参加した生徒たちや職員は、その後もメールや手紙のやり取り、お互いの地を訪問するなど、今も交流が続いています。今回参加した生徒たちも、枝幸町の皆さんの温かいおもてなしを体感し、人と人とのつながりの素晴らしさを感じました。そして、今後もこのつながりを忘れず、交流していきたいと話していました。

今年の8月には、枝幸町から6人の生徒を受け入れます。今回訪問した生徒たちが感謝の気持ちを込めて、夏の平戸で交流を深めます。



## 新たな門出を祝して

1月3日、平戸文化センターで「平成29年平戸市成人式」が開催されました。当日は、晴れ着やスーツ、袴に身を包んだ新成人たちが、新たな門出を迎え、凛々しい表情をして式に臨みました。式では、各地区の新成人の代表者が成人証書授与を受け取り、新成人の誓いの言葉を述べていました。また、式典終了後は旧友との再会を喜び記念撮影したり、近況や思い出話を話したりとにぎわっていました。

今年の成人式は、平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの426人中、367人が参加しました。

## 新成人の内訳

平戸地区 (内訳)	259人	生月地区	84人
北部地区	146人	田平地区	75人
中部地区	56人	大島地区	8人
南部地区	57人		
合計	426人		

## 平成29年平戸市成人式 -Coming of Age Ceremony-



## 新成人誓いの言葉

本日は私たちのために、このような盛大な式典を挙行し、多くの方々からの祝福を得、また感謝する場を準備していただき、誠にありがとうございます。成人という人生の節目を迎え、本日より一人の大人として社会人の仲間入りをする事になり、これから担う責任の重さを強く感じているところです。また、皆さまの顔が見えるこの場に立つと、この20年間多くの人に支えられ、今日の日を迎えることができたという事に気づかされると共に、感謝の気持ちでいっぱい입니다。

今日の感謝の気持ちと新たな決意を忘れることなく、皆さまに明るい未来が訪れることをお祈りし、誓いの言葉とさせていただきます。

(一部抜粋)



新成人代表  
萩原 朋也さん(中部地区)

## 動画配信のお知らせ

「平成29年平戸市成人式」の新成人のインタビューの様を、平戸市公式ホームページの「市民向け」【動画で見る平戸】で公開しています。



※この写真は、平戸の新成人が撮影しました。